



～ 自他共栄～ NO.5

2024年9月3日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

9月1日は「防災の日」



関東大震災発生時の東京

9月1日、この日は1923年に**関東大震災**が発生した日であるとともに、暦の上では立春から「**二百十日**」に当たり、古来より**台風**が来襲しやすい**厄日**とされていることから、1960年6月、**9月1日を「防災の日」と**することが決まりました。

今年は年始から「**防災**」を強く意識する年になりました。元日の**能登半島地震**、8月の**日向灘地震**とそれに伴う**南海トラフ地震臨時情報**、直近では**台風10号**と日本各地での**線状降水帯**をともなう**大雨**等々…。私たちは**災害リスクが常に身近**

にあることを自覚し、日頃から**非常用品や家具の配置・固定**、非常時の**避難場所や連絡手段の確保**など身の回りの備えを再確認する必要があります。

101年前の惨劇から学ぶ災害時の情報リテラシー

それと同時に注意すべきなのは、災害時における「**情報リテラシー**」です。

南海トラフ地震情報が出た際は「**〇日に地震が起きる**」等の根拠のない情報が出回りました。**能登半島地震**でも偽の住所が記載された**救助要請**が発信され、“**善意**”からその情報が**拡散**されたことにより、**警察や消防**が振り回される結果となりました。

今から101年前にも、根拠のない情報によって人々が惑わされ、犠牲者が出る事件がありました。1910年、日本は韓国を併合して植民地化、これに一部の朝鮮の人々が反発したことを受け、日本人の多くは朝鮮人に対する恐怖心を抱き、差別意識を強めていきました。こうした中**関東大震災**が発生し、いつしか「**朝鮮人が襲ってくる**」「**朝鮮人が略奪や放火をした**」とのデマが飛び交いました。こうしたデマは根拠も示されないまま新聞に取り上げられ、人々の不安や恐怖をあおりました。**疑心暗鬼に陥った市民は、朝鮮人を捕え、殺害**するという事件が関東各地で発生しました。中には、香川から千葉の村を訪れていた行商団が、讃岐弁を話していたことから現地の人に朝鮮人と疑われ、殺害されるという事件もありました(福田村事件)。



映画「福田村事件」
DVD 発売中
監督；森達也

現在、主にSNSを中心に外国人の不法滞在問題や移民問題、外国人による迷惑行為が広く取り沙汰されています。もし、あなたの街で災害が起き、その街で「**外国人が暴動を起こしている**」という情報が入った時、あなたは**その情報をどう処理**しますか？

人々の不安や恐怖をあおる情報は、視聴率・部数・閲覧数が伸びます。それらを伸ばすための悪意ある偽情報の拡散はもっての外ですが、**例え善意であっても、情報をうのみにしたり、すぐに拡散したりせず、公的機関の信頼できる情報かどうかを確認**する必要があります。

視点が変われば解釈も変わる！だからこそ多角的な情報収集が大事！！
“負の歴史”を見つめ、学び、正しい情報リテラシーを身につけよう！